

## 学力調査結果の分析や考察

### □小学校の教科の傾向について（平均正答率による比較）

- 全国と比べて国語Aはほぼ同様ですが、国語B、算数A、算数Bは下回り、特に算数Bは低いです。
- 全道と比べて国語Aと国語Bはほぼ同様ですが、算数A、算数Bはやや低いです。
- 理科は全国・全道よりやや低いです。
- 活用を主とする国語B（目的に応じ内容を的確に押さえ要旨を捉える・文章と資料を関係付けて自分の考えを書くなど）は、昨年と比べ差を大きく縮め、全国・全道とほぼ同様で、指導の成果が見られます。
- 領域別に全国と比べると、国語Aの伝統的な言語文化（漢字の読み書きやことわざなど）と書くこと、読むこと、算数Aの数量関係はほぼ同様です。理科の物質（水の性質など）はほぼ同様で、エネルギー（振り子や磁石の性質など）、生命（生物の成長など）、地球（星座との関係など）はやや低いです。国語Aの話すこと、聞くこと、算数A・Bの量と測定など低い分野もあり、知識・技能の定着や活用する力を身につけさせる必要があります。
- 領域別に全道と比べると、国語Aの伝統的な言語文化、書くこと、読むこと、国語Bの書くこと、読むこと、算数Aの数と計算、数量関係はほぼ同様です。理科はエネルギー、生命はほぼ同様で、物質、地球はやや低いです。算数Aの図形、算数Bの量と測定など低い分野もあり、技能の定着や活用する力を身につけさせる必要があります。

### □中学校の教科の傾向について（平均正答率による比較）

- 全国と比べて国語Bは同様ですが、国語A、数学A、数学Bは下回り、特に数学B、数学Aは低いです。
- 全道と比べて国語A、国語Bはほぼ同様ですが、数学A、数学Bは低いです。
- 理科は全国・全道とほぼ同様です。
- 活用を主とする国語B（資料の作成や提示の工夫を説明したり、その理由を書く・文章構成や展開を踏まえ根拠を明確にして自分の考えを書くなど）は、昨年と比べ差を大きく縮め、全国・全道と同様で、指導の成果が見られます。
- 領域別に全国と比べると、国語Aの伝統的な言語文化（漢字の読み書きやことわざなど）と書くこと、国語Bの話すこと、聞くことや書くことはほぼ同様です。理科は物理、化学、生物、地学の4領域とも同様で、物理と地学は少し上回っています。数学Aの図形や資料の活用、数学Bの図形や数と式など低い分野もあり、知識・技能の定着や活用する力を身につけさせる必要があります。
- 領域別に全道と比べると、国語Aの伝統的な言語文化、読むこと、国語Bの書くことはほぼ同様です。理科は物理、化学、生物、地学の4領域とも同様です。数学Aの図形や資料の活用、数学Bの図形や数となど低い分野もあり、技能の定着や活用する力を身につけさせる必要があります。